

寒地地形談話会通信

1983年4月号
1983.4.19 配行

4月の例会の報告 (1983.4.1. 那須大12, 日本地質学会 種地地形研究会-70会員)

(発表者)

- 1) 渡辺 勝二 (筑波大院): ハイマツを主体とした高山環境の地形
——北アルプス立山をフィールド例—— (修論構想)
- 2) 斎永 由紀 (筑波大院): 立山の雪渓の融雪に関する取扱い特性
(修論構想)
- 3) 守屋 以智雄 (金沢大): 白山の現成階状土
- 4) 吉田 栄夫 (種地研): や干と山脈ヒドライヴレーの地形
- 5) 萩井 理行 (種地研): 南極半島、サウスショーランドの地形

(要旨)

- 1) 北アルプス立山連峰をフィールド例として、我が国の高山帯の代表的
な植被であるハイマツの分布と消雪時期、微気象、地形、そ
の構成物質や岩屑の移動量などを観察し、ハイマツ
高山環境との関係のモデル化を試みるところ述べる。
- 2) 雪渓上の融雪と気象の因との関連をさぐるために、立山連峰の
剣岳上部「ほれ川雪」を雷鳥沢の雪渓上部、今更融雪の観測を行ふ。
一般に、融雪は下層ほど気象要素の中で最も気温との関係が一番高くなる
が、 $M(\text{融雪量}) = f \sum T$ (f : degree day factor, T : 累算気温) で
表わされる。修論では、degree day factorを検討し、気象のパラメータ
と気温との関連について考察するところ述べる。
- 3) 白山山頂付近に分布する現成の階状土についての発表が
地理学会に先づて行われる。

概要: 本稿では、多くの階状土は、緩傾斜の雪渓周辺に分布している (図1)。
上面(階段の平坦部)から下位の上面に向かって植被前面(末端)

崖)を下る雪の流れから、現在形成

中であることが述べられた。

北尾尾雪渓近くに発達する階状土の長さ・幅・末端崖の比高、および測定結果等、積雪との関係、トレンドによる斜面観察などについて発表されたが、階状土の形成が山頂付近で過去数100年以内にまだ行われていることが示された。

また、詳細は 地理学 23(1983),
p 58-59 を参照されたい。

4) 南極・やまと山脈とダイクト

リニアードのドライ・グレー地形のうちも(1)について、新聞の写真の比較など、多数のスライドを使、大紹介がなされた。

5) 1981.11~1982.11 英国隊の船にて東洋大陸降。サウス・シップ、チャーチル島などアスリットが多載船にてされた。

また、積雪断面観測地ボーリングコアのpH値から、南極の雪のpHが夏に値が高く冬に低い季節変化することが述べられた。その理由は、 NO_x の光化学反応が夏季に卓越するため、成層圏汚染(ex. 硫酸)が地表に輸送されることが可能であることが述べられた。

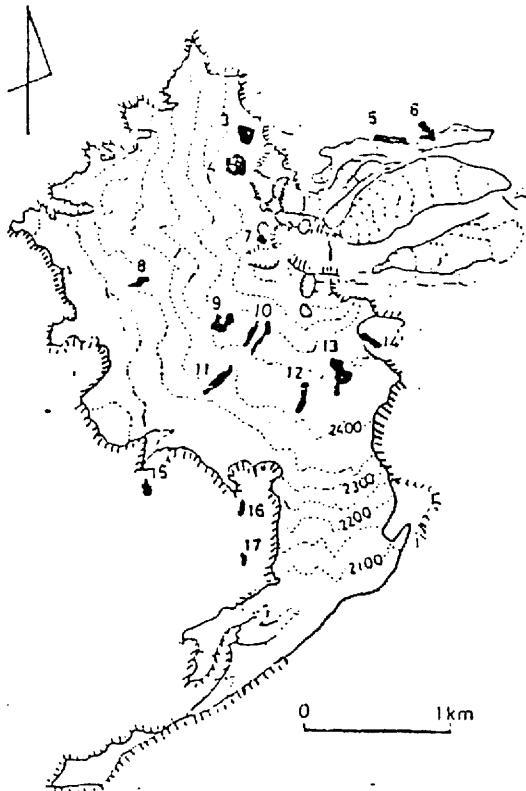


図1. 白山山頂付近の階状土分布図

5月14日㈬のお知らせ

日時：5月14日(土) 14:00-17:00

場所：お茶の水女子大学 文教育学部 地理教室

地下鉄・若葉駅下車 徒歩10分

発表者：

- Huguette Vivian (リバーナード大)：フランス・リバーナードの氷河水文学について（仮題）<通訳付>
- 田村 光穂（学芸大院）：日本リバーナードの差異化（考察構想）
- 田端 淳（法政大）：東カリマニランの地形と気候
—スライド中心—

② 予告

(1) 比較氷河研究会が、5月22日(日)・23日(月)，筑波大学・水理実験センターで開かれます。

ネバーランド、ヒマラヤ等の氷河ボーリング、 sondage等の成果のほか、近年の気候変動と氷河変動というテーマのセミナー10~15分発表による二日間の予定です。

参加希望者は事務局まで御連絡下さい。

(2) 極地地形研究グループの例会が6月11日(土)，10:00~17:00、極地研究所2階の講義室で開かれます。

ラブダ・ホフナガル、オガル、ヤギ山等の $1/2,5万$ 地形学図などを用いての発表がおこなわれる予定です。

2/2

④ 事務局から

前月号の通信で不知せ(手ては)のように、本公司の山中英二君の消息はいまだに不明で、大変憂慮される状況になつています。

先日の日本地理学会の隙合、東北大学の方々を中心とした 捜索委員会がつくられ、宮城地形調査会も全面的に山中君の捜索に協力するに至りました。

つきましては、同封しました趣意書の通り、捜索費用を想定するための募金をいたしたいと存じます。一口3,000円から2万円ですが、二万円少額でもかまいません。また、あくまでも自主的につくった募金です。お志のあの方だけ結構ござります。4月末日までに同封の振替用紙にてお送り下さるようお願いいたします。また、捜索活動は5月の連休時にあたる、その結果を4月2次回を5月中旬~下旬にかけておこなう予定です。

本公司は岩田修二さんが連絡先に3,000円の2万円、捜索活動に御協力いたなげてどうぞおかけ、直接、岩田さんに御連絡下さい。